

第1回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会概要

本市が懸念を表明している「発生土置場の計画」に焦点をあて、J R 東海から検討状況の説明を受けた後、有識者による意見交換等を実施した。

1 日時・場所

平成27年7月14日(火) 9時30分～11時00分
静岡市役所 静岡庁舎 新館17階 172会議室

2 出席者

- 【委員長】 増澤 武弘 (敬称略)
【委員】 岩堀 恵祐、土屋 智、安田 進 (敬称略)
【事業者】 東海旅客鉄道(株) 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部
【オブザーバー】 静岡県、特種東海製紙(株)
【事務局】 静岡市環境局 【市関係課】 企画局、経済局、都市局、建設局

3 議事項目

- (1) 事業者説明 (東海旅客鉄道(株))
① 中央新幹線建設事業の概要及び発生土置場の計画について
② 今後の検討について
(2) 意見交換

4 議事概要

(1) J R 東海からの説明内容

- ① 発生土量は約360万 m^3
② 発生土置場候補地は7箇所 (評価書のとおり)
③ 各発生土置場の想定盛土数量、図面、安定計算例、高盛土の事例
扇沢 約310万 m^3 、ツバクロ 約360万 m^3 、その他 約2～17万 m^3
④ ツバクロ沢の発生土置場について検討を重点的に進めていく
⑤ 市長意見を踏まえ、ツバクロ沢の発生土置場について、今後、土石流に対する安全性、景観への影響について検討を深めていく

(2) 有識者からの意見等

- ① 盛土の勾配、締固め度、排水処理等について、どのような基準に基づいて検討しているのか (ケースバイケースでの検討が必要)
② 盛土の安全性について、地震と豪雨時の両方の検討が必要である
③ 植生や景観も含めた施工後の維持管理が非常に重要であることから、管理計画の作成が必要である
④ 発生土の仮置き場や、地質が悪い残土の対処方法の確認
⑤ 既設の発生土置場での安定計算等の確認